

引用・参考文献

研究の目的および研究組織

- 1) Bakeman, R. & Adamson, L.B. (1984). Coordinating attention to people and objects in mother-infant and peer-infant interaction. *Child Development*, 55, 1278-1289.
- 2) Baron-Cohen, S. (1995). *Mindblindness: An Essay on Autism and Theory of Mind*. Cambridge, MA: MIT Press.
- 3) Butterworth, G. & Jarrett, N. (1991). What minds have in common is space: Spatial mechanisms serving joint visual attention in infancy. *British Journal of Developmental Psychology*, 9, 55-72.
- 4) Butterworth, G.H. (1995) *Origins of Mind in Perception and Action*. In Moore, C & Dunham P. J. (eds.) *Joint Attention; Its Origins and Role in Development*. Lawrence Erlbaum Associates, Inc., 29-40. 大神英裕監訳 (1999) *ジョイント・アテンション*. ナカニシヤ出版.
- 5) Landry, S.H. (1995) *The Development of Joint Attention in Premature Low Birth Weight Infant: Effects of Early Medical Complications and Maternal Attention - directing Behaviour*. In Moore, C & Dunham P. J. (eds.) *Joint Attention; Its Origins and Role in Development*. Lawrence Erlbaum Associates, Inc., 223-250. 大神英裕監訳 (1999) *ジョイント・アテンション*. ナカニシヤ出版.
- 6) 大神英裕 (1998) 共同注意行動の発達の起源. 乳幼児期における共同注意の発達と障害に関する縦断的研究. 平成13年度科学研究費補助金中間報告, 1-20, 九州大学.
- 7) 大神英裕 (2001) 共同注意関連の30項目からなる行動評価の改訂版, 資料.
- 8) 大神英裕 (2002) 共同注意行動の発達の起源. 乳幼児期における共同注意の発達と障害に関する縦断的研究. 平成13年度科学研究費補助金中間報告, 1-20, 九州大学.
- 9) Rochat, P. (2001) *The Infant's World*. Harvard University Press.
- 10) Sugarman, S. (1984) *The development of preverbal communication: Its contribution and limits in promoting the development of language*. In R.L. Schiefelbusch & J. Pickar (Eds.), *Communicative competence: Acquisition and intervention*. Baltimore: University Park Press, 23-67.
- 11) Tomasello, M. & Farrar, J. (1986). Joint attention and early language. *Child Development*, 57, 1454-1463.
- 12) 徳永 豊 (2003) 重度・重複障害児のコミュニケーション行動における共同注意の実証的研究, 平成11～14年度科学研究費補助金研究成果報告書.
- 13) Tomasello, M. (1995). Joint attention as social cognition. In Moore, C & Dunham P. J. (eds.) *Joint Attention; Its Origins and Role in Development*. Lawrence Erlbaum Associates, Inc., 93-117. 大神英裕監訳 (1999) *ジョイント・アテンション*. ナカニシヤ出版.
- 14) 山野留美子・大神英裕 (1997) 乳幼児における共同注意の発達に関する研究 九州大学教育学部紀要 (教育心理学部門) 42(2), 165-173.

第1章第1節

- 1) 阿部恵美 (2005) 重複障害児と係わり手の相互的活動における注意の共有についての事例からの考察, <http://www.juen.ac.jp/handi/excerpt04/excerpt0402.pdf>.
- 2) 新井千賀子・小田浩一 (2005) 視覚障害乳幼児と母親の共同注意に関する研究, 日本特殊教育学会第

43回大会論文集, 594.

- 3) Bakeman, R. & Adamson, L.B. (1984). Coordinating attention to people and objects in mother-infant and peer-infant interaction. *Child Development*, 55, 1278-1289.
- 4) 古山 勝 (2004) 重度重複障害児の三項関係におけるコミュニケーション行動の発達, 日本特殊教育学会第42回大会論文集, 301.
- 5) 古山 勝・徳永 豊 (2005) 重度・重複障害児の共同注意に関する行動形成の研究 日本特殊教育学会第43回大会論文集, 218.
- 6) 古山 勝 (2005) 重度・重複障害児の共同注意に関する行動形成の研究, 筑波大学附属桐が丘養護学校研究紀要, 第41巻, 33-37.
- 7) Landry, S.H. (1995) The Development of Joint Attention in Premature Low Birth Weight Infant: Effects of Early Medical Complications and Maternal Attention - directing Behaviour. In Moore, C & Dunham P. J. (eds.) *Joint Attention; Its Origins and Role in Development*. Lawrence Erlbaum Associates, Inc., 223-250. 大神英裕監訳 (1999) ジョイント・アテンション. ナカニシヤ出版.
- 8) 西村 強 (2004) 重度・重複障害児の相互交渉についての分析－手を中心とする身体接触の効果－日本特殊教育学会第42回大会論文集, 290.
- 9) 大神英裕 (2002) 共同注意行動の発達の起源. 乳幼児期における共同注意の発達と障害に関する縦断的研究. 平成13年度科学研究費補助金中間報告, 1-20, 九州大学.
- 10) 徳永 豊 (2000) 肢体不自由を伴う重度・重複障害児の前言語的対人相互交渉に関する研究動向とその課題. *特殊教育学研究*, 38(3), 53-60.
- 11) 徳永 豊 (2003) 重度・重複障害児のコミュニケーション行動における共同注意の実証的研究, 平成11～14年度科学研究費補助金研究成果報告書.
- 12) 土谷良巳・菅井裕行 (2000) ネゴシエーションの視点からみた初期のコミュニケーション－先天的な盲ろう二重障害におけるコミュニケーションをめぐる－, 国立特殊教育総合研究所研究紀要, 第27巻, 77-88.

第1章第2節

- 1) Adamson, L.B. (1995) *Communication Development During Infancy*. Westview Press. 大藪泰・田中みどり訳 (1999) 乳児のコミュニケーション発達 川島書店.
- 2) Brown, E. (1996) *Religious Education for All*. David Fulton Publishers; London.
- 3) Marvin, C (1998) *Teaching and Learning for Children with Profound and Multiple Learning Difficulties*. In Lacey, P. & Ouvry, C. (eds.) *People with Profound and Multiple Learning Disabilities*. David Fulton Publishers; London, 117-129.
- 4) Rochat, P. (2001) *The Infant's World*. Harvard University Press.
- 5) Stern, D. N (1985) *The Interpersonal World of the Infant*. New York ; Basic Book, Inc. 小此木啓吾・丸太俊彦監, 神庭靖子・神庭重信訳 (1989), 乳児の対人世界－理論編－岩波学術出版社.
- 6) 徳永 豊 (2003a) 動作法の基礎と実際 3－教育活動や発達支援に活用していくために 肢体不自由教育 163 50-53.
- 7) 徳永 豊 (2003b) 重度・重複障害児のコミュニケーション行動における共同注意の実証的研究, 平成11～14年度科学研究費補助金研究成果報告書.

第1章第3節

- 1) 香川邦夫 (2004) 自立活動, 国立特殊教育総合研究所プロジェクト研究報告書, 「21世紀の特殊教育

- に対応した教育課程の望ましいあり方に関する基礎的研究」(平成13年度～平成15年度).
- 2) 川住隆一 (2001) 個別の指導計画の評価 特別支援教育 第6号 38-43.
 - 3) 国立特殊教育総合研究所 (2004) プロジェクト研究報告書, 「21世紀の特殊教育に対応した教育課程の望ましいあり方に関する基礎的研究」(平成13年度～平成15年度).
 - 4) 宮崎 昭 (2002) 自立活動における評価の在り方 特別支援教育 第8号 36-41.
 - 5) 徳永 豊 (2004) 評価の動向と特別支援教育 肢体不自由教育 167号 4-11.

第2章第1節

- 1) 青森県立八戸第一養護学校 (2003) 平成13・14年度文部科学省特殊教育研究協力校「障害の特性に応じた教育に関する研究」研究紀要：教科の基礎・基本の定着を促す学習活動のあり方.
- 2) Brown, E. (1996) Religious Education for All. David Fulton Publishers; London.
- 3) Department for Education and Employment (1998) Supporting the Target Setting Process : Guidance for effective target setting for pupils with special educational needs) DfEE Publication Centre, Suffolk, UK.
- 4) Department for Education and Employment (2001) Planning, teaching and assessing the curriculum for pupils with learning difficulties ; General guidelines. The Qualifications and Curriculum Authority, <http://www.qca.org.uk/ages3-14/inclusion/303.html>.
- 5) Department for Education and Employment (2001) Supporting the Target Setting Process (revised March 2001) : Guidance for effective target setting for pupils with special educational needs). <http://www.standards.dfes.gov.uk/otherresources/publications/targetsetting>
- 6) 大神英裕 (2001) 共同注意関連の30項目からなる行動評価の改訂版, 資料.
- 7) 大神英裕 (2002) 共同注意行動の発達の起源.乳幼児期における共同注意の発達と障害に関する縦断的研究. 平成13年度科学研究費補助金中間報告, 1-20, 九州大学.
- 8) 宮崎県立宮崎南養護学校 (2003) 平成14年度研究紀要「知的障害養護学校における評価の在り方に関する研究」.
- 9) Marvin, C (1998) Teaching and Learning for Children with Profound and Multiple Learning Difficulties. In Lacey, P. & Ouvry, C. (eds.) People with Profound and Multiple Learning Disabilities. David Fulton Publishers ; London, 117-129.
- 10) Nind, M & Hewett, D (1994) Access to Communication -Developing the basics of communication with people with severe learning difficulties through Intensive Interaction-. David Fulton Publishers ; London.
- 11) 櫻井宏明 (2001) 「指導のめやす試案表」の作成と個別指導計画 障害者問題研究 第28巻第4号 378-388.
- 12) The Dochester Curriculum Group (2002) Towards a Curriculum for All. David Fulton Publishers, London.
- 13) The Qualifications and Curriculum Authority (2003) National curriculum 5-14, <http://www.qca.org.uk/ages3-14/232.html>
- 14) 徳永 豊 (2005) 学習到達度チェックリスト 私信.
- 15) 徳永 豊・宍戸和成 (2004) イギリスにおける特殊教育の教育課程について プロジェクト研究報告書「21世紀の特殊教育に対応した教育課程の望ましいあり方に関する基礎的研究」(平成13年度～平成15年度) 資料「主要国における特殊教育に対応した教育課程の調査研究」.
- 16) 筑波大学附属桐が丘養護学校 (2004) 平成15・16年度文部科学省特殊教育研究協力校「肢体不自由教

育における小中高一貫の教育計画と評価」報告1.

- 17) 筑波大学附属桐が丘養護学校 (2005) 研究紀要 第40巻 平成15・16年度文部科学省特殊教育研究協力校 研究成果報告書 肢体不自由教育における小中高一貫の教育計画と評価 - 学習評価の改善を通して実現する「個の教育的ニーズ」に応じた指導-.
- 18) Ware, J. (1996) Creating a Responsive Environment - for people with profound and multiple learning disabilities-. David Fulton Publishers; London.

第2章第3節

- 1) Bruner, J.S. (1983) Child's talk : learning to use language. London Oxford University Press. 寺田晃・本郷一夫(訳) 1988 乳幼児の話しことば: コミュニケーションの学習 新曜社.
- 2) Bruner, J.S. (1995) From joint attention to the meeting of minds : An introduction. In C. Moore & P.J. Dunham (eds.), joint attention : Its origin and role in development. Lawrence Erlbaum Associates. 大神英裕 (監訳) 1999 ジョイント・アテンション-心の起源とその発達を探る- ナカニシヤ出版.
- 3) 中川信子 (1990) 心をことばにのせて ぶどう社.
- 4) 長崎勤・小野里美帆 (1996) コミュニケーションの発達と指導プログラム-発達に遅れをもつ乳幼児のために- 日本文化科学社
- 5) 長崎勤他 (1998) スクリプトによるコミュニケーション指導 川島書店.
- 6) 大藪 泰 (2002) 共同注意 - 新生児から2歳6か月までの発達過程- 川島書店.
- 7) 徳永 豊 (2003) 乳幼児の発達における共同注意関連行動について 科学研究費研究成果報告書「重度・重複障害児のコミュニケーション行動における共同注意の実証的研究」.
- 8) 徳永 豊 (2005) 学習評価到達度スケール 私信.

第2章第4節

- 1) 大神英裕・監訳 (1999) ジョイント・アテンション-心の起源とその発達を探る-, ナカニシヤ出版.
- 2) 大神英裕 (2003) 共同注意行動の発達の起源. 乳幼児期における共同注意の発達と障害に関する縦断的研究, 平成13年度科学研究費補助金成果報告書.
- 3) 徳永 豊 (2004) 重度・重複障害児のコミュニケーション行動における共同注意の実証的研究, 平成11~平成14年度科学研究費補助金成果報告書.
- 4) 徳永 豊 (1995) 自発的な動きの乏しい重度・重複障害児に対する「からだ遊び」の指導について, 国立特殊教育研究所研究紀要, 22, 9-16.
- 5) 徳永 豊 (1996) 障害のある子どもの前言語的発達を促すための動作法, リハビリテーション心理学研究, 24, 35-43.
- 6) 大藪 泰 (2004) 共同注意-新生児から2歳6か月までの発達過程-, 川島書店.
- 7) P・ロシヤ著/板倉昭二・開一夫監訳 (2004) 乳児の世界, ミネルヴァ書房.
- 8) 正高信男編 (1999) ことばと心の発達, 第1巻, 赤ちゃんの認識世界, ミネルヴァ書房.
- 9) 正高信男 (1993) 0歳児がことばを獲得するとき 行動学からのアプローチ, 中央公論社.
- 10) 古山 勝・徳永 豊 (2005) 重度・重複障害児の共同注意に関する行動形成の研究 日本特殊教育学会第43回大会論文集 218.
- 11) 古山 勝他 (2005) 重度・重複障害児の共同注意に関する行動形成の研究, 筑波大学附属桐が丘養護学校研究紀要, 第41巻, 33-37.
- 12) 徳永 豊 (2005) 学習到達度チェックリスト 私信.

第3章

- 1) 徳永 豊・宍戸和成 (2004) イギリスにおける特殊教育の教育課程について プロジェクト研究報告書「21世紀の特殊教育に対応した教育課程の望ましいあり方に関する基礎的研究」(平成13年度～平成15年度) 資料「主要国における特殊教育に対応した教育課程の調査研究」.
- 2) 徳永 豊・佐藤克敏 (2004) 発達障害のある学生支援ガイドブック. 国立特殊教育総合研究所 (編), ジアース教育新社.